

第217回 暮らしのSDGs学習会 議事録

1. 参加者 (会員：敬称略) 増永、横田、大塚、笠原、小川、黒島、古山、古市、筒井（記）
(その他) 新美氏、阿部氏 (インスタグラム導入の指導：指導後退席)
2. 日時 2026年1月9日（金） 13:30 ~ 15:00
3. 場所 生涯学習センター 3階 会議室
4. テーマ ソーラーシェアリングの現状と課題、OBNのインスタグラム導入について
5. 説明 インスタグラムについて（古市会員、阿部氏）
ソーラーシェアリングの現状と課題（筒井：OBN会員、学習会担当）
6. 内容 先にインスタグラムへのOBNページ導入について説明があり、その後、ソーラーシェアリングについて研修資料等を用い説明があった。（説明内容は以下の通り）

<インスタグラムについて>

- * 現在、インスタグラムにobn2002のアカウントでPR用のページを開設している。なお、Facebookにも同一のアカウントでページが存在するが関連はない。
- * インスタグラムのページの閲覧や投稿にはスマホにアプリのインストールが必要。
⇒ 阿部氏の補助を受け、古市会員から出席者のスマホへのアプリインストール指導。

<ソーラーシェアリングについて>

- * 昨年（2025年）9月に「自然エネルギーを広めるネットワークちば」という団体で、「市民エネルギーちば株式会社」の専務（西山氏）よりソーラーシェアリング（以下ソラシェアと略）についての講演が開催されたので、その内容について説明を行った。
(市民エネルギーちば株専務の講演の動画を視聴予定だったが、機器に問題があり口頭説明)
 - * 「自然エネルギーを広げるネットワークちば（リネットちば）」は、千葉県内で多くの団体会員と個人会員を持ち、勉強会等を開催することにより自然エネルギーの普及に努めている。
 - * ソラシェアには、一般社団法人の協会があり、その普及に努めている。そのHPによると、市民エネルギーちば株のソラシェアは、日本一の規模であると記載されている。
 - * ソラシェア協会等のHPによると、ソラシェアは、2004年に特許が取得され、2005年に無償で公開された。2010年から市原市で実証実験が行われ50種類以上の野菜が育つことを確認。2013年に農水省指針で「営農型太陽光発電」という名称で農地でのソラシェアが認められた。2021年には農業法人のソラシェアによる発電収入が、農業関連収入として認められた。
 - * 市民エネルギーちば株は、2014年に設立され、千葉県匝瑳市に本店を置き、ソラシェアの発電事業を開始した。現在、低圧は23号機まで、高圧は360kWが通電済みである。なお、FITの買取価格の低下やFITの適用期間後の設備の買取価格の低下で、経営は厳しい状況である。
 - * ソラシェアのメリットとしては、以下のようなものがあげられる。
 - ・影が細く移動するために必ず作物に日が当たる。（作物の成長に必要な光が確保できる）
 - ・パネルから落ちる（通常の太陽光発電と比較すると）雨だれの影響が小さい。
 - ・細型パネルで、自重や風圧荷重が小さく風圧や地震等に強い。

<次回予定>

- 日時 = 2026年2月13日（金）13:30 ~ 15:00
場所 = 流山市生涯学習センター 3F 会議室
内容 = 森林インストラクターとは何か、またその役割は？
講師 = 山浦信介氏（NPO法人 千葉県森林インストラクター会 所属）